

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 4 部門第 1 区分

【発行日】平成28年3月10日(2016.3.10)

【公開番号】特開2015-59299(P2015-59299A)

【公開日】平成27年3月30日(2015.3.30)

【年通号数】公開・登録公報2015-021

【出願番号】特願2013-191412(P2013-191412)

【国際特許分類】

E 0 4 F 15/12 (2006.01)

E 0 4 G 21/10 (2006.01)

E 0 4 F 15/08 (2006.01)

【F I】

E 0 4 F 15/12 J

E 0 4 G 21/10 A

E 0 4 F 15/08 G

【手続補正書】

【提出日】平成28年1月25日(2016.1.25)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

床面に埋め込まれるアンカー部と、前記アンカー部から床面から離れる方向に延伸する棒状部とからなるアンカーピンであって、

前記棒状部はボールジョイントにより屈曲可能に前記アンカー部と接続されてなることを特徴とするアンカーピン。

【請求項 2】

前記ボールジョイントは、ボール部と該ボール部を覆うハウジングとからなり、前記ボール部が一部露出するように、前記ハウジングに切り欠きまたは穴が形成されたことを特徴とする請求項 1 に記載のアンカーピン。

【請求項 3】

前記ボールジョイントによる屈曲を防止するための固定手段を備えたことを特徴とする請求項 1 または 2 に記載のアンカーピン。

【請求項 4】

前記固定手段はネジであることを特徴とする請求項 3 に記載のアンカーピン。

【請求項 5】

前記アンカー部の長手方向の中心線と前記棒状部の長手方向の中心線とが偏芯していることを特徴とする請求項 1 から 4 のいずれか一項に記載のアンカーピン。

【請求項 6】

前記棒状部には、他部材を支承するための支承部を備えていることを特徴とする請求項 1 から請求項 5 のいずれか一項に記載のアンカーピン。

【請求項 7】

前記支承部は高さ調整が可能であることを特徴とする請求項 6 に記載のアンカーピン。

【請求項 8】

前記支承部はナットであり、棒状部と螺合していることを特徴とする請求項 7 に記載の

アンカーピン。

【請求項 9】

平面床を施工するために下地を形成するキットであって、請求項 1 から 8 のいずれか一項に記載のアンカーピンと、前記アンカーピンの棒状部に固定されるガイドレールとを備えてなることを特徴とする平面床の下地を形成するキット。

【請求項 10】

前記ガイドレールは前記棒状部を挿入または貫通可能な穴または溝が設けられていることを特徴とする請求項 9 に記載の平面床の下地を形成するキット。

【請求項 11】

大型セラミック板を用いて床面を形成する方法であって、

建築床面にガイドレールを複数本設置する工程と、前記ガイドレール間に充填物を充填する工程と、ガイドに沿って充填物を均してレベルを出す工程と、大型セラミック板を貼り付ける工程と、を有し、

前記建築床面にガイドレールを設置する工程で、前記ガイドレールは前記建築床面に立設されたアンカーピンに固定され、前記アンカーピンは、アンカー部と棒状部とを有し、前記棒状部はボールジョイントにより屈曲可能に前記アンカー部と接続されてなるアンカーピンを用いた大型セラミック板の床面の施工方法。